

Tracers MSCIオール・カンントリー・インデックス (全世界株式)

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第1期(決算日2024年5月16日)

作成対象期間(2023年4月26日～2024年5月16日)

第1期末(2024年5月16日)	
基準価額	14,494円
純資産総額	3,757百万円
第1期	
騰落率	44.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「Tracers MSCIオール・カンントリー・インデックス(全世界株式)」は、2024年5月16日に第1期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、海外先進国、新興国および日本の金融商品取引所に上場する株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<945084>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年4月26日～2024年5月16日)



設定日：10,000円

期 末：14,494円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 44.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、海外先進国株式「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド」受益証券と新興国株式「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド」受益証券および日本株式「日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド」受益証券に投資を行ない、全世界の株式市場の動きをとらえる指数 (MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。

当作成期間中において、基準価額の変動要因となった、各マザーファンドの騰落率および当期間末における組入比率は以下の通りです。

詳しくは「投資環境」をご参照ください。

マザーファンド	騰落率	組入比率
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド	46.9%	84.5%
海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド	33.5%	10.3%
日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド	40.9%	5.3%

1万口当たりの費用明細

(2023年4月26日～2024年5月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	7	0.061	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.020)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.020)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.020)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0.003)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.003)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.005)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.076	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(4)	(0.036)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
(そ の 他)	(1)	(0.006)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	18	0.147	
期中の平均基準価額は、12,056円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

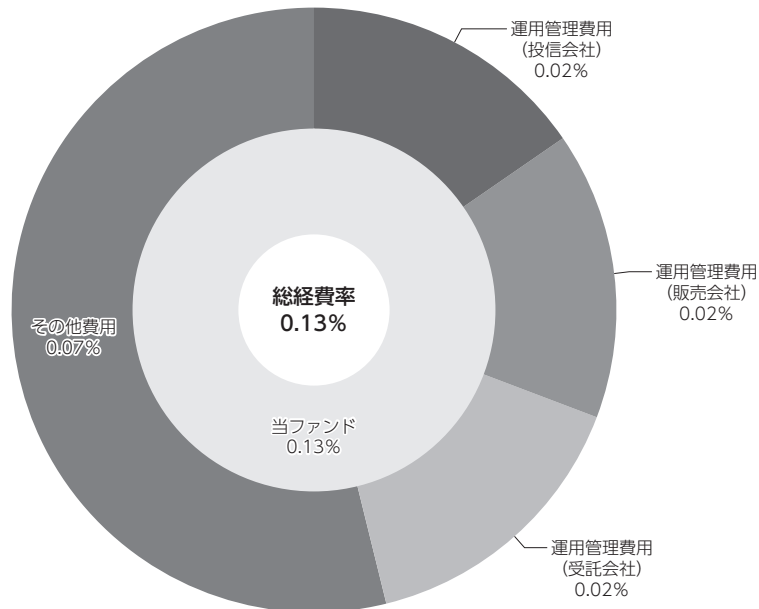
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.13%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

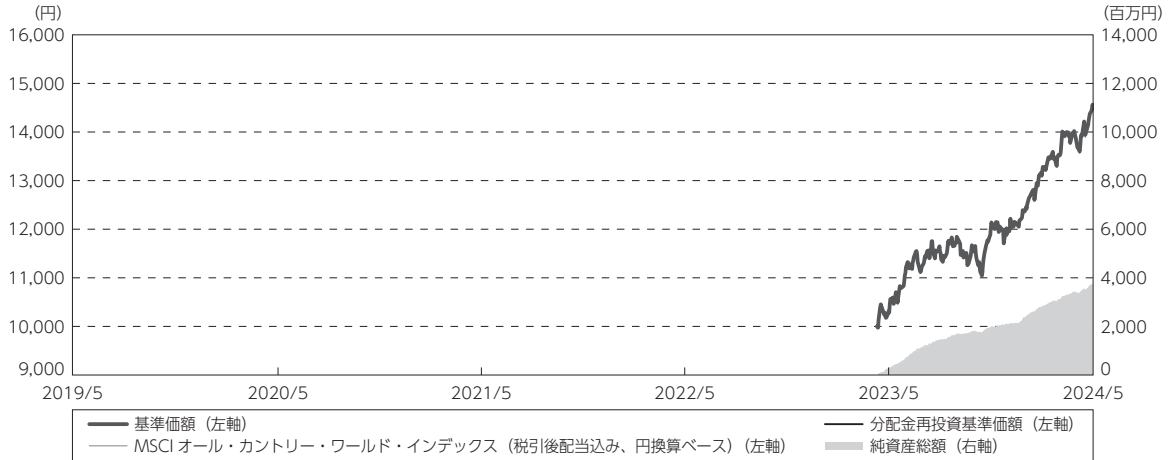
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年5月16日～2024年5月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2023年4月26日です。

	2023年4月26日 設定日	2024年5月16日 決算日
基準価額 (円)	10,000	14,494
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	44.9
MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) 騰落率 (%)	—	44.3
純資産総額 (百万円)	10	3,757

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年5月16日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2023年4月26日～2024年5月16日)

(海外先進国株式市況)

海外株式市場では、期間の初めと比べて、欧米諸国などの株価は総じて上昇しました。

期間の初めから2023年10月下旬にかけては、米国の消費者物価指数（CPI）などのインフレ指標が市場予想を下回り、米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化への期待が強まったことや、交渉難航が懸念された米国政府の債務上限問題を巡る政府と野党の協議が最終的に基本合意し、米国債務上限停止法案が成立したことなどが株価の支援材料となったものの、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受けて、米国の金融引き締めが長期化するとの見方が改めて広がり、欧米の長期金利が上昇したことや、イスラエルとイスラム組織ハマスとの間の戦闘激化による地政学的リスクの高まりなどが重しとなり、欧米諸国などの株価は概して下落しました。11月上旬から期間末にかけては、欧米の早期利下げ観測が後退する局面で欧米の長期金利が上昇したことや、イランがイスラエルを攻撃し中東情勢が緊迫化したことなどが株価の重しとなったものの、FOMCにてFRBが2024年に利下げに転じるとの見方を示したことや、生成AI（人工知能）の活用の広がりからAI関連の大手ハイテク企業などへの業績期待が高まったこと、欧州中央銀行（ECB）総裁がECB理事会後の記者会見で利下げを示唆したことなどが支援材料となり、欧米諸国などの株価は総じて上昇しました。

(新興国株式市況)

新興国株式市場では、期間の初めと比べて、新興国各国の株価は概して上昇しました。

期間の初めから2023年7月下旬にかけては、世界的なインフレ懸念を背景に複数の新興国および欧米の主要中央銀行の利上げの継続が警戒されたことなどが株価の重しとなったものの、中国人民銀行が景気下振れリスクの抑制のため最優遇貸出金利を引き下げたことや、中国共産党の中央政治局会議で景気刺激策を追加する方針が示されたことなどが支援材料となり、新興国各国の株価は総じて上昇しました。8月上旬から10月下旬にかけては、中国の貿易統計で輸出・輸入がともに低迷していることなどから中国景気の先行き不安が強まったことや、中国の不動産市況の悪化が警戒されたこと、中東情勢の緊迫化を受けた地政学的リスクの高まりが警戒され、世界経済の先行き懸念が高まったことなどが株価の重しとなり、新興国各国の株価は総じて下落しました。11月上旬から期間末にかけては、中国景気に対する先行き懸念や、欧米の早期利下げ観測が後退する局面で欧米の長期金利が上昇したこと、イランがイスラエルを攻撃し中東情勢が緊迫化したことなどが株価の重しとなったものの、中国の主要都市で住宅購入の規制緩和が発表されたことや、一部の新興国の政策金利の引き下げ、FOMCにてFRBが2024年に利下げに転じるとの見方を示したこと、中国人民銀行が住宅ローン金利の基準となる5年物ローンプライムレート（LPR）を大幅に引き下げたことなどが支援材料となり、新興国各国の株価は総じて上昇しました。

(国内株式市況)

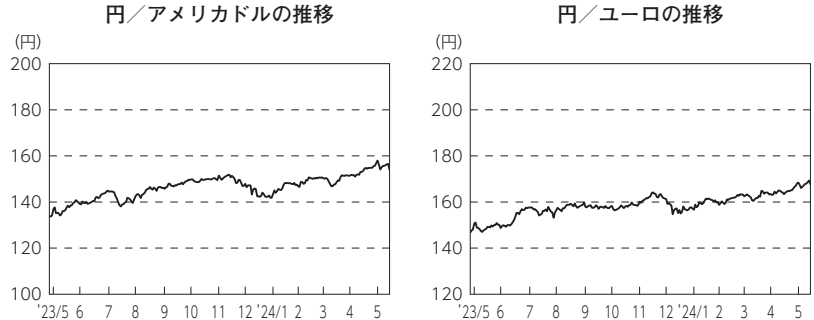
国内株式市場では、株価は期間の初めと比べて上昇しました。

米国の堅調な経済指標の発表などを背景に米国の金融引き締めの長期化が警戒されたことや、中東情勢の緊迫化で投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが株価の重しとなりました。しかし、国内企業の概ね堅調な決算内容を受けて投資家心理が改善したことや、国内株式市場の相対的な割安感を背景

に海外投資家の買いが膨らんだこと、米国のCPIが市場予想を下回り、米国の追加利上げ観測が後退したこと、FOMCの結果を受けてFRBが2024年に利下げに動くこと期待されたこと、米国の生成AI向け大手半導体企業の好決算などから米国株式市場が上昇したこと、日銀が金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除やETFの買い入れ終了などを決定したものの、日銀総裁の記者会見での発言などから緩和的な金融環境が当面続くとの見方が広がったことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2023年4月26日～2024年5月16日）

（当ファンド）

当ファンドは、海外先進国株式「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券、新興国株式「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券および日本株式「日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド」受益証券に投資し、運用を行ないました。

（海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド）

ベンチマークが採用している国の株式の中からリスクコントロールモデルを使用して構築したポートフォリオで、運用を行ないました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替などに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ない、現物株式と株式先物取引を合計した実質の株式組入比率を高位に保ちました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高水準の外貨エクスポージャーを維持しました。

（海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド）

ベンチマークが採用している国の株式の中からリスクコントロールモデルを使用して構築したポートフォリオで運用を行ない、期間を通じて株式組入比率を高位に維持しました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

（日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド）

株式の運用は、MSCIジャパン・インデックスに採用されている株式に投資し、「MSCIジャパン・インデックス（配当込み）」との連動性を維持するよう努めました。株式ポートフォリオにおける業種構成比や主な保有銘柄の構成比は、MSCIジャパン・インデックスのそれらに準ずるものとししました。

また、株式先物取引を含めた実質株式組入率を高位に保ち、「MSCIジャパン・インデックス（配当込み）」との連動性を維持するよう努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年4月26日～2024年5月16日）

期間中における基準価額は、44.9%の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）」の上昇率44.3%を概ね0.6%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

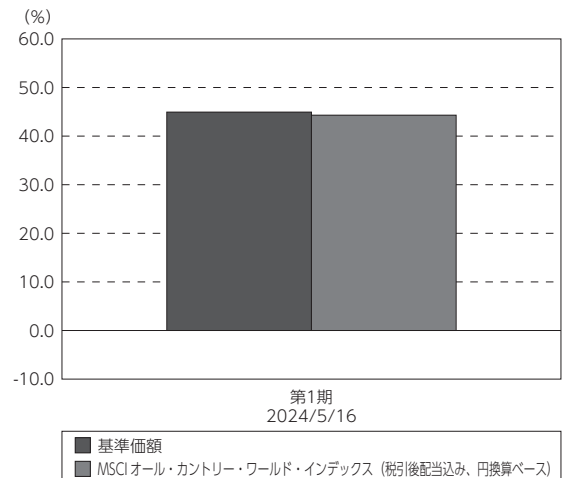
<プラス要因>

- ・ 現物株式の組入れに基づく要因。
- ・ 株式先物証拠金金利の受取り。

<マイナス要因>

- ・ 株式先物の組入れに基づく要因。
- ・ 海外コストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

（2023年4月26日～2024年5月16日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 1 期
	2023年4月26日～ 2024年5月16日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,493

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、海外先進国株式「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券と新興国株式「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券および日本株式「日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド」受益証券に投資を行ない、全世界の株式市場の動きをとらえる指数（MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざします。

（海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド）

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざして、原則としてリスクコントロールモデルにより構築した現物株式ポートフォリオへの投資を継続するとともに、現物株式と株式先物取引を合計した実質的な株式組入比率を高位に維持する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高水準の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド）

引き続き、ベンチマークである「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」に連動する投資成果をめざし、原則としてリスクコントロールモデルにより構築した現物株式ポートフォリオへの投資を継続するとともに、現物株式と株式先物取引を合計した実質的な株式組入比率を高位に維持する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド）

引き続き、株式ポートフォリオに関しては、株式先物取引を含めた実質株式組入比率を高位に保ち、「MSCIジャパン・インデックス（配当込み）」との連動性を維持するように努めます。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2023年4月26日から2024年5月16日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

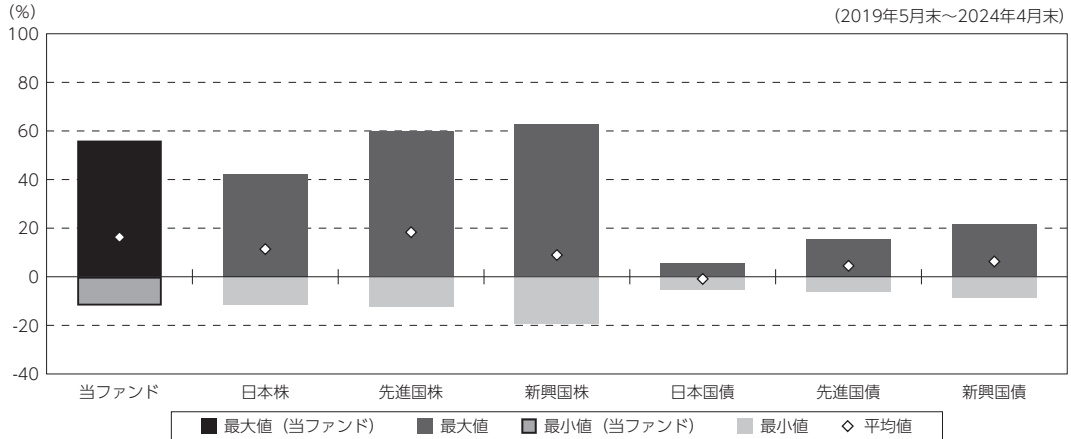
当ファンドについて、このたび投資家の利便性向上のため、信託約款第39条第2項に規定する信託事務の諸費用につき、信託財産で負担する上限率を年万分の10から年万分の3へと引き下げるべく、2023年8月4日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第39条）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	2023年4月26日から原則無期限です。	
運用方針	主として、投資信託の受益証券に投資を行ない、全世界（先進国、新興国および日本を指します。）の株式市場の動きをとらえる指数（MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	Tracers MSCIオール・カンントリー・インデックス（全世界株式）	投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
	海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド	新興国の株式を主要投資対象とします。
	日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、海外先進国、新興国および日本の金融商品取引所に上場する株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し、委託者の判断により決定するものとします。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.0	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 11.9	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	16.3	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)

[MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス]とは、[MSCI Inc.]が発表している、先進国 (含む日本)・新興国市場における大型および中型の上場株式で構成されており、全世界の株式市場の動きをとらえた株価指数です。同指数の (円換算ベース)とは、現地通貨ベースの指数を円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年5月16日現在)

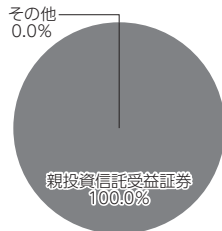
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第1期末
	%
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	84.5
海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド	10.3
日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド	5.3
組入銘柄数	3銘柄

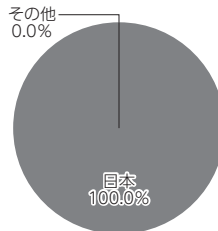
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

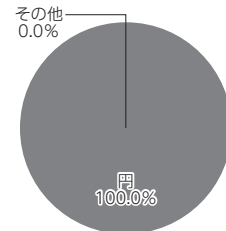
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

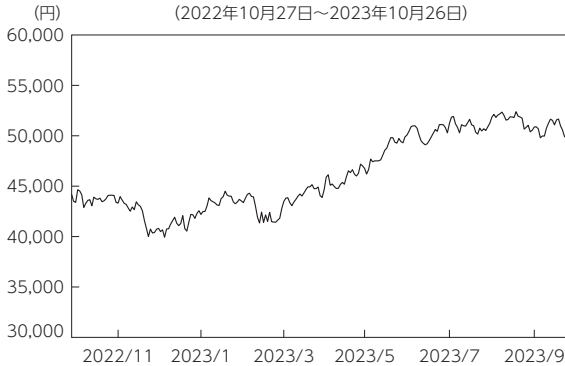
項 目	第1期末
	2024年5月16日
純資産総額	3,757,180,828円
受益権総口数	2,592,260,155口
1万円当たり基準価額	14,494円

(注) 期中における追加設定元本額は3,575,472,186円、同解約元本額は993,212,031円です。

組入上位ファンドの概要

海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月27日~2023年10月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	1 (1) (0) (0)	0.003 (0.002) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券)	2 (2) (0)	0.004 (0.004) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.020 (0.020) (0.000)
合 計	12	0.027

期中の平均基準価額は、46,175円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年10月26日現在)

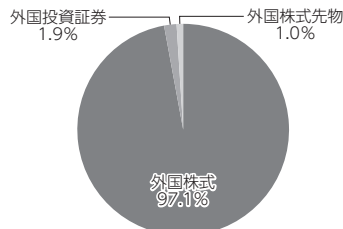
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	5.4%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	4.8%
3	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売	アメリカドル	アメリカ	2.2%
4	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.1%
5	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.5%
6	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
8	TESLA INC	自動車・自動車部品	アメリカドル	アメリカ	1.2%
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.0%
10	ELI LILLY & CO	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	0.9%
組入銘柄数			1,273銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

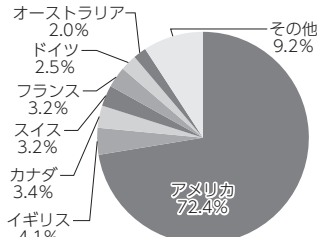
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

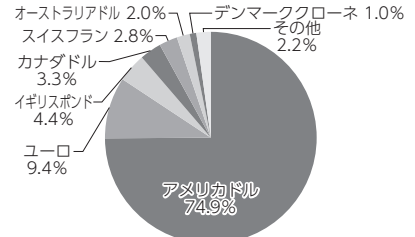
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月17日~2024年5月16日)

項目	当期	
	金額 (円)	比率 (%)
(a) 売買委託手数料 (株式)	6 (4)	0.025 (0.014)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(3)	(0.010)
(b) 有価証券取引税 (株式)	5 (5)	0.021 (0.021)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	43 (31)	0.170 (0.124)
(その他)	(12)	(0.047)
合計	54	0.216

期中の平均基準価額は、25,051円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

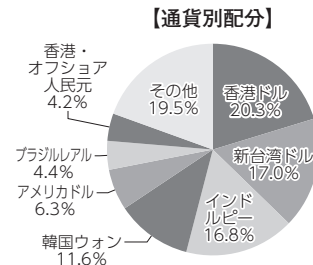
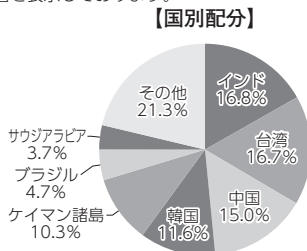
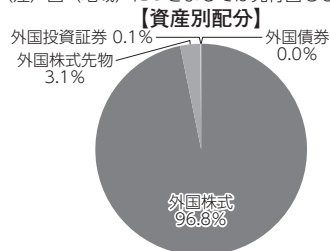
(2024年5月16日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	8.3
2	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	4.2
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	3.6
4	MINMSCIE	株式先物(買建)	アメリカドル	アメリカ	3.1
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	一般消費財・サービス流通・小売り	香港ドル	ケイマン諸島	2.2
6	RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	1.3
7	PDD HOLDINGS INC-ADR	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	ケイマン諸島	1.1
8	MEITUAN-CLASS B	消費者サービス	香港ドル	ケイマン諸島	1.0
9	SK HYNIX INC	半導体・半導体製造装置	韓国ウォン	韓国	1.0
10	ICICI BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	0.9
組入銘柄数			1,190銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

日本株式インデックスMSCIジャパン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年4月25日～2024年5月16日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年4月25日～2024年5月16日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	2 (0) (2)	0.013 (0.000) (0.013)
合計	2	0.013

期中の平均基準価額は、12,008円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2024年5月16日現在)

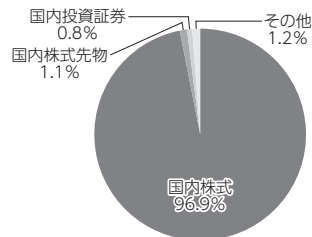
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	5.8
2	東京エレクトロン	電気機器	円	日本	2.9
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	2.8
4	ソニーグループ	電気機器	円	日本	2.7
5	キーエンス	電気機器	円	日本	2.4
6	日立製作所	電気機器	円	日本	2.1
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.0
8	三菱商事	卸売業	円	日本	1.9
9	リクルートホールディングス	サービス業	円	日本	1.8
10	信越化学工業	化学	円	日本	1.7
	組入銘柄数		218銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

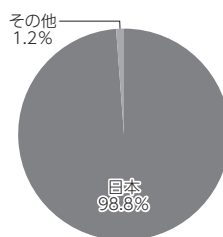
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

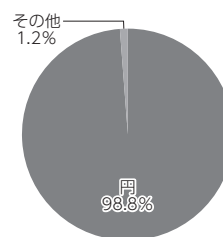
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。